

公益社団法人日本ホッケー協会
平成 29 年度第 3 回理事会（臨時）議事録

I. 日 時 平成 29 年 7 月 15 日（土）午後 12 時 30 分～午後 2 時 15 分

II. 場 所 岸記念体育会館 1 階会議室 101・102

III. 出席者 日本トップリーグ連携機構 会長 川淵三郎

代表理事 中曽根弘文

理事 内藤亮治（内藤貴詞）、寺本祐治、山口修一郎、安西浩哉、
中村康夫、古賀久義、宮野正喜、瀧上正志、濱田清二、
千野雅人、今庄充世、馬場治男、野崎博典、長田和雄、
中村哲也、橋本聖子、間野義之、真喜代司、
吉光幸夫、遠藤博行

監事 田中誠

IV. ご挨拶 日本トップリーグ連携機構 川淵三郎会長

V. 審議事項

- ①平成 29 年度諸会議開催計画の件
- ②平成 29 年度強化学業の件
- ③人事の件
- ④女子アジアカップ（2017 年 10 月 28 日～11 月 5 日 岐阜県各務原市）
- ⑤その他

VI. 報告事項

- ①シニア強化スタッフ選考に関する件
- ②東京 2020 五輪国内競技団体今後の大会準備等に関する連絡会
- ③ニールセンの提案（広報）
- ④平成 29 年度正会員費納入状況
- ⑤日本体育協会より横田前会長に感謝状

VII. 「審議事項」議事経過及びその結果

定刻、中村事務局長が開会を宣言し、理事 27 名の内 21 名出席しているので
本理事会は定款第 39 条の規定に定める定足数を満たしており適法に成立し

た旨を告げた。

中曽根会長挨拶

「高校大学通じて7年間ホッケー界にお世話になりました。また、ホッケーで学んだことが社会人生活に大変プラスになったと思っております。今度は学生時代にお世話になったホッケーに恩返ししたいと思い会長に就任させていただきました。ホッケーを愛する人達、特にながらんでいる選手が安心して競技に臨めることが大事なので、全力を尽くし、3年後のオリンピックを目指して皆さんとともに取り組みたい。メダルを獲得するという大きな目的の為には全役員、全会員、全プレーヤーみんな一丸となり、心を一つにしてやっていかねばならない。

我々には多大なご尽力をいただいている川淵会長、橋本理事の気持ちを受け止めて実行する責任がある。協会としてなすべきことは第一に安定した財政基盤を築くこと。自分も先頭に立って責任もってスポンサー獲得に取り組みたい。第二に選手の活躍を報道してもらえるよう広報活動を強化したい。第三に国際大会で活躍できる役員、審判を育成したい。第四に今秋開催される女子アジアカップについて、日本で開催される以上協会として取り組み成功させたい。会長に就任して最初の理事会にあたり、日本協会の再建に取り組むので協力をお願いしたい。」

定款第38条に基づき中曽根会長が議長に選出された

議事録作成人に織井隆司事務局員、議事録署名人に田中 誠監事、野崎博典理事を選出した。審議に入る前に橋本聖子理事と間野義之理事から理事就任挨拶があった。

1. 平成29年度諸会議開催計画の件

- (1) 中村事務局長が配布資料に基き説明
- (2) 議長：決を取る。全員賛成で可決。

2. 平成29年度強化学業の件

- (1) 中村事務局長が配布資料に基き説明
 - ① JOCのランクがCからBに上がったので助成金がほぼ2倍以上になった。
 - ② ただしシニア強化学業は3分の1がJHA負担なので資金も必要

③男女代表チームが南アフリカに遠征中なので帰国後よく打ち合わせて9月の理事会で詳細な内容を再提出する。

(2) 質疑応答

間野：個人負担金大幅減少させるということだがどの程度負担していたのか？

中村事務局長：行先によって違うが1回の遠征で1人3～10万円、シニアで1人年間30～50万円だった。

(3) 全員異議なく可決。

3. 人事の件

(1) 中村事務局長が配布資料に基づき説明

6月10日の総会の後の理事会では会長のみ決定したので、その他の役職者を決めて頂きたい。

(2) 議長：7月5日と12日に旧業務執行理事と面談した上で川淵会長、竹田JOC会長等の意見も聞いて案を作成した。理事役職者と委員長を合わせて審議いただきたい。

古賀：任期はいつまでか？

中村事務局長：来年の定時総会まで。

(3) 議長：よろしいですか？異議無いので案の内容で承認とします。

4. 女子アジアカップの件

(1) 寺本理事：アジアホッケー連盟が今年3月の総会で日本での開催を決めた。日本協会、岐阜県協会は引き受けないことを表明したが各務原市協会が引き受けた。日本協会としては選手・役員は派遣するし、できる範囲で協力はしていく。

(2) 議長：資金はどうなっているか？

寺本理事：各務原市と各務原ホッケー協会が負担すると聞いている。

議長：選手や役員の費用は？

寺本理事：選手の費用は日本協会負担。役員費用はアジアホッケー連盟が負担。

議長：アジアホッケー連盟のタヤブCEOが来訪されたので今回の進め方に遺憾の意を表したが、協力はすると伝えた。大会終了後話し合いをしてけじめはつけたい。

間野理事：議長がおっしゃるとおりでこのような話しは聞いたことがない。
地方協会が主催する国際大会に日本協会が選手を派遣するという
やり方はホッケーでは常識なのか？

寺本理事：そのようなことはない。

議長：本来ありえない話だが走り出してしまっている以上協力せざるを得
ない。各国は事情分からないだろうし、選手に影響が出てはよくな
いので。

間野理事：アジアホッケー連盟にも問題あるのではないか？

遠藤理事：当事者なので申し上げるが、岐阜県協会は上手くやる自信がな
かったので断っていた。日本協会が主催するならよいのだが……。
岐阜県協会はどういうスタンスを取ればよいのか？

寺本理事：現在アジアホッケー連盟と協議中。大会の成功を目指したい。

遠藤理事：大会期間中平日もあり役員派遣は難しいこともご理解頂きたい

議長：いろいろあるが寺本理事の言うとおりに協会として成功させたい。

その他に議案はあるか？

中村事務局長：ありません。

議長：よろしければ以上で予定された審議事項を終了する。

VIII. 報告事項

1. シニア強化スタッフ選考に関する件

寺本理事：シニア強化スタッフ選考に関する調査報告書を別紙で配布。

中村事務局長：補足説明 5月の理事会で寺本さんに調査を依頼したこと
により本日その調査結果が提出された。

2. 東京 2020 五輪国内競技団体今後の大会準備等に関する連絡会

安西理事：7月12日に開催された連絡会の資料を別紙で配布。

ホッケー協会選出のスポーツマネージャーは近藤聡史氏。組織委
員会に常勤する。大会ボランティアは来年7月に募集要項公表予
定。ホッケーは300人を想定。

3. ニールセン社からの提案

宮野理事：ニールセン社から「ホッケー協会の現状整理・価値の可視化・
セールスシートの作成支援」提案があったので資料を配布する。

4. 平成 29 年度正会員費納入状況

資料配布

5. 日本体育協会より横田前会長に感謝状が贈呈された
中村事務局長：JHAとしての扱いを次回理事会で提案する。

IX. その他

1. 中村事務局長：理事会終了後業務執行理事会を行なう。8月以降の全国大会のJHA代表の出席者を決める。

2. 間野理事：東京2020オリンピックホッケー会場である大井グラウンドの後利用について東京都が発表している。聖地として確保し、他競技と取り合わないよう手を打つべき。来年度運営事業者が決定するがホッケー協会は指定管理者になってでも取り組むべき。

議長：一生懸命取り組みましょう。

3. 濱田理事より提案

(6月10日開催の)総会で修正動議が提出された。理事は理事会で決定して提出された議案に賛成すべきなのに、修正動議に賛成した理事がいた。これはおかしいのではないかと、ひどい問題だと思う。自分も身を引いてもよいと思うがそういう理事も辞めるべき。このままでは東京2020オリンピックが終わったらホッケーはどうなるかと心配する。安田強化副本部長が優秀なのは分かるが若返りを図るべき。ヘッドコーチがやりやすい体制を作らせるべき。以上提案したい。

4. 中村事務局長から報告

理事の女性比率について従来JOCからは20%を目標とされてきたが、スポーツ庁から2020年までに30%を目標とするよう言われている。

5. 瀧上理事から報告

本日委員長人事が決まったので今後委員が決まってくる。新しい委員長と相談して各種規程を見直して行きたい。

7. 監事所見

田中監事：思っていたよりいろいろな意見が出た。今後引き続き検討していかなければならない事項も多いので監事としてもしっかりやっていく。

7. 議長：組織について意見があれば取り入れたい。

以上をもって議事の全部の審議を終了したので、議長は午後 2 時 15 分閉会を宣した。

平成 29 年 7 月 15 日